

母語・継承語・バイリンガル教育(MHB)研究会 2014年度研究大会

2014 Annual Conference of Mother Tongue・Heritage Language・Bilingual
Education (MHB) Research Association

テーマ:「マルチリテラシーの育成」 Theme: Fostering Multiliteracy

国内外の複数言語下の、主として子どもが、読み書きも含むマルチリンガル能力を身につけられるような教育を目指して、その方法、理論、研究方法を探ります。

日時:2014年8月7日(木) 10時より (受付 9時半より)

*8月5日には大会プレセッション、8月6日・7日には分科会活動があります。

場所:国際基督教大学(東京都三鷹市大沢3-10-2)

*JR中央線武蔵境駅より小田急バスにて約10分 <http://www.icu.ac.jp/about/access/index.html>

参加費:3,000円(当日、受付で現金にてお支払いください。)

*学生証の提示で2,000円になります。

プログラム:

午前 基調講演 「考える力を育てることばの教育
～メタ認知を活かした授業デザイン～」



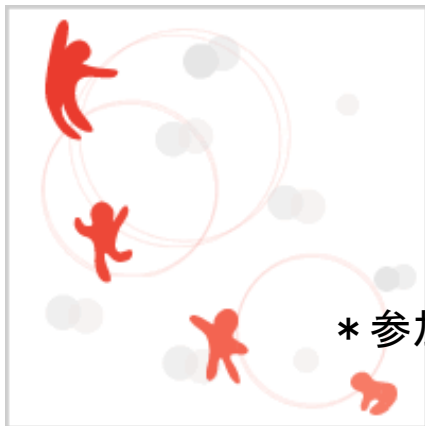
内田伸子(十文字学園女子大学理事・特任教授、
お茶の水女子大学名誉教授、学術博士)

幼児期から学力格差が始まるのか?この問いのもとに実施した日韓中越蒙比較短期縦断調査に基づき考察を進める。日本や韓国では、幼児期に子どもの主体性を大切に「子ども中心の保育」や「共有型しつけ」のもとで育った子どもの学力が高くなることが明らかになった。これに基づき、日本の学力低下問題を解決するための方法の一つに「論理科」がある。論理科は熊本大学附属小の先生方と協働で開発したもので、現在は熊本県内の小中学校で実践し、よい効果をあげている。なぜ論理科が考える力を育てることにつながったかについても提案する。

午後 研究発表・ポスター発表・
デモンストレーション

*参加申込み方法は研究会サイトでご確認ください。

<http://www.mhb.jp/>



2014年度研究大会プログラム

* 詳細は研究会サイトでご確認ください。 <http://www.mhb.jp/>

【大会 2014年8月7日(木) 10時 — 16時】

10:00 — 開会・挨拶

10:15 — 12:00 基調講演

「考える力を育てることばの教育 ～メタ認知を活かした授業デザイン～」
内田伸子氏(十文字女子大学特任教授)

12:30 — 13:30 ポスター発表 6件(2会場同時進行)

13:00 — 14:00 デモンストレーション 3件(3会場同時進行)

14:15 — 16:00 研究発表 6件(2会場同時進行)

【大会プレセッション 2014年8月5日(火) 10時—17時】

レクチャー「新しいカリキュラム作りとクリティカルシンキングを入れたICTの活用」
講師 津田和男氏(国連国際学校教諭)

【MHB研究会分科会活動 2014年8月6日(水)・7日(木)】

- ・国際ナショナル・スクールSIG 8月5日(水) 12:00 — 13:30
- ・アセスメントSIG 8月6日(木) 11:00 — 15:00
- ・バイリンガル作文SIG 8月6日(木) 15:00 — 16:30
- ・海外継承日本語SIG 8月7日(木) 16:10 — 18:00

*SIGは、Special Interest Groupの略です。

【後援】

国際基督教大学教育研究所

ICU Institute for Educational Research and Service (IERS)

<問合せ先> 2014MHB@gmail.com

